



やらまいか

例会日：毎週火曜日 12：30 例会場：豊川商工会議所
 会長：大岩一仁 幹事：夏目雅康 SAA：大島嗣雄 会報委員長：太田 稔
 事務局：豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoirc@sala.or.jp

本年度第 3 4 回 通算 1 1 0 5 回 平成 2 1 年 3 月 2 4 日 (火) 晴

ゲスト 豊橋ゴールデン R C 会長 西郷隆治さん
 国府高校生徒 4 名 教諭 1 名 豊川工業高校生徒 2 名 教諭 1 名
 宝陵高校生徒 3 名 教諭 1 名 御津高校生徒 2 名 教諭 1 名
 ビジター (なし)
 出席報告 川淵啓治委員長

会員総数	計算会員数	本日の出席者数	本日の出席率	3 / 10 修正出席率
5 4 名	4 4 + 4 名	3 2 名	6 6 . 7 %	9 0 . 2 %

司会進行 大島嗣雄 S A A

会長の挨拶及び報告

大岩一仁会長



こんにちは。W B C 決勝戦が気になるところです。ただいま日本がリードしているので、頑張って優勝してほしいです。

先週の合同例会は、所要にて欠席をしまして、青木副会長には会長の代行をして頂きまして誠にありがとうございました。今日は、豊橋ゴールデンロータリークラブの西郷会長さんにお越し頂いております。2 月に行なわれました、創立 20 周年の記念式典は大変素晴らしいかったです。

今日の例会プログラムは、新世代委員会の担当例会ということで、高校生の皆さんが大勢出席して頂いております。引率の先生方には、年度末の大変お忙しい中、ご出席を頂きましてありがとうございます。例会場も若い高校生の皆さんがいるので、いつもより明るく感じます。後ほど一年間の活動の報告をして頂けるということで大変楽しみにしております。

幹事報告

夏目雅康幹事

例会臨時変更のお知らせ
 蒲郡、豊橋ゴールデン、新城、豊橋北、豊川、豊橋、豊橋南

豊橋ゴールデン R C 西郷会長ご挨拶

皆さん、こんにちは。2 月 20 日に豊橋ゴールデンロータリークラブが成人式を迎えました。当日は、会長さんにご出席を頂き御祝いして頂きました。記念事業の中の最大事業がオペラ「カルメン」の上演です。東三河の 12 クラブの皆様にもできるだけご協力を頂きたいと思っております。本年度の松井ガバナー補佐、山脇豊川市長さん、自衛隊豊川駐屯地の皆さんも出演されます。もちろん私も出演します。オペラ文化の普及のために頑張っています。是非、見に来て頂きたいと思っております。



委員会報告

親睦委員会 (杉浦担当委員)
 5 月 26 日春の行楽について

ニコニコボックス

その他

西郷隆治さん お世話になります
柴田浩志会員 本日の例会担当です
井指光基会員 結婚記念日を祝って頂き
金田証宏会員 いろいろ祝って頂き
星川佳伸会員 〃
川淵啓治会員 入会記念日を祝って頂き
山本章吾会員 〃
岩瀬靖宏会員 所要にて途中退席します

新世代委員会担当例会

高校生のボランティア活動報告

委員長あいさつ

柴田浩志委員長



こんにちは。今回で4回目の高校生の皆さんの活動発表の例会になります。先生方には年度末のお忙しい時期に大変ありがと

うございます。

ボランティアというのが、日本でもかなり一般的になってきました。年末の派遣村のニュースがありました。あそこに500人の派遣難民の人が集まって、ボランティアの人が1700人集まったそうです。現在は災害とかあった場合、すぐにボランティアの人が集まるようになりました。昔、日本はボランティアに向いてないと言われていました。「自分のことではなく他人のことを考える」がボランティアの基本であると考えたら、日本人は昔からそのような気持ちはずっと持ってきています。地域のつながりとかが希薄になってきて、それを補う意味でボランティアが注目されているように思います。本来の日本人の持っているやさしさ、人を思いやる気持ち、このような気持ちがあれば、どんどんボランティアは進んでいくのではないかと思います。世界は、非常に厳しい時代に入ってきました。金融が大変なことになっているのですが、現在の金融は「自分だけ儲ければ良い」となっているように思います。そのような流れのひずみがここへ来て爆発したのではないかと思います。今日は、高校生の皆さんのボランテ

ィア活動報告を聞きながら、自分たちのロータリアンとしてのあり方などを再確認して頂きたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

宝陵高校の発表



私たちは、この一年間、先輩から受け継いだボランティア活動を例年通り実施するとともに新たな活動にも取り組みました。4

月26日に豊橋駅前であしなが育英会の募金活動を行ないました。この募金活動は、10月25日にも1年生4人で参加をしました。初めは声も掛けられないし、チラシも受け取ってもらえないし、募金もなかなかしてもらえず、辛かったけれど、最後には必死になって声を掛け、募金をしてもらいました。中には、立ち止まって激励してくれる方や小さな子どもさんに募金をさせてくれるお母さんもいて、とても嬉しく和やかな気持ちになりました。夏休みや冬休みの学童保育支援は、3箇所で行ないました。私が参加したぽかぽかクラブでは、子ども達は元気一杯でやんちゃな子どもおり、帰る時になかなか帰してもらえず、帰るのが辛くなりました。一宮児童館は、付き添いのお母さんからお子さんの話を聞かせて頂いてとても楽しかったです。希全センターの七夕祭りの風船バレーの交流会では、入所者の方に話しかけると嬉しそうに答えてくれ、七夕の短冊と一緒に書いた時、その方の本当の希望が聞けて良かったです。9月1日の始業式が終わった後に、社会教育団体SYDの講演会を行ないました。これは、初めての試みでした。講演は私たちボランティア部の部員を対象にしたもので、東南アジアの発展途上国のストリートチルドレンの話を行いました。10月の文化祭では、東南アジアの子ども達に贈る衣料品や学用品の寄付を募り、たくさんの方のTシャツや鉛筆、消しゴム、ノートなどを寄付してもらいました。12月の体験発表会では、ボランティア部の活動状況を報告し、全校生徒と多くの保護者の方に聞いてもらいました。この春休みには、学童保育支援を行ないます。また新たな出会いがあることを楽しみにしています。今回行なわれる交流会で

は、他の学校の皆さんの活動をしっかり聞きたいと思っています。

御津高校の発表



平成 20 年度、御津高校の活動報告を行ないます。御津高校では、豊川市社会福祉協議会、豊橋善意銀行、豊川宝飯ロータリークラブなど団体からのボランティア情報を生かして、活動をしたり、聾学校の多くの行事に参加をしています。いずれの事業においても、ボランティア部と生徒会執行部は行事の準備や広報活動にも意欲的に取り組んでいます。代議員やクラス担任の呼びかけに応じる一般生徒に対する理解も得られ、活動する生徒は増加しています。

今年の夏に行なったボランティア活動をまとめた掲示物です。65 歳以上のお年寄りを対象に月に一度、ボランティアの仲間と一緒に、朝はモーニング、誕生日会、歌と体操、昼食会などを行っています。

次の掲示物は、今年 1 月に行なわれた聾学校の文化祭と、2 月に行なわれた国府の市ウォークラリーをまとめたものです。聾学校の文化祭では、ペーパーフラワーコーナーでひまわりの作り方を教えました。幼児から卒業生、保護者など多数参加してくれて、世代を超えた多くの人と交流することができました。ひまわり作り方をずっと教えていたので疲れましたが、いろいろな人と交流ができたのでとても良かったです。国府の市では、ウォークラリーのスタッフとして参加しました。たくさんの人に来て頂き、行事を終えることができたのでとても良かったです。

また、ボランティア部では、ペーパーフラワー作りやボランティア活動内容をまとめて掲示物を作ったりしました。また、5 月・6 月・7 月・1 月に手話講習会があり手話を学びました。夏休み中は、善意銀行主催の高校生夏休みボランティア体験奉仕活動や豊川市社会福祉協議会主催の青少年ボランティア体験学習に取組み、多くの施設関係者や地域の人々から激励されました。

また、御津高校の文化祭には、地域の高齢者を招き、体育館でのステージ発表、模擬店、クラス発表等に参加して頂きました。弓道部生徒とボランティア部生徒との交流では、高齢者の青春時代の体験談を聞きました。校内活動として、募金、年賀状ボランティア等は定例化しています。豊川宝飯ロータリークラブからの活動支援金は、聾者や高齢者等の疑似体験用具、老人ホーム交流での消耗品の購入に当てられ、貴重な財源となりました。これからも活動の啓発に一層努力し、豊かな人間性をつくっていききたいと思います。

豊川工業高校の発表



私たちボランティア部は、平成 18 年度に同好会が発足して、本年度は部活動として昇格

しました。3 年生が卒業し、現部員は 1, 2 年生合わせて 4 名です。3 年生が残してくれたものを引き継いで頑張っていきたいと思います。今年は、子どもの物づくり教室での先生役、各種イベント、各福祉施設への訪問を行いました。新たな取組みとして、24 時間テレビ草の根チャリティ募金とキャンドルナイトを行ないました。

昨年の 8 月に 24 時間テレビの募金とキャンドルナイトのイベントを行ないました。初めてのことであったので、大変なことも多かったのですが、たくさんの人たちの協力で成功することができました。中部小学校の児童に協力してもらい、本校でペットボトルでキャンドルライトを作りました。代田小学校の児童にも協力してもらい、代田小学校でキャンドルライトをつくりました。24 時間テレビ当日は、アピタで募金活動を行ないました。1700 本のペットボトルのキャンドルライトをつくり、「誓い」という文字に並べて点灯することができました。それと同時に進行で、ペットボトルのキャップを集めました。キャップ 400 個集めると 10 円分の価値になります。800 個集めて 20 円分でポリオワクチン一人分が買えて、一人の子の命が救えます。もしも、キャップ 400 個をゴミとして処理をすると、CO₂

を 3150 も排出

することになります。集まったキャップは、豊川市社会福祉協議会を通じて寄付をしました。

国府高校の発表



私たち生徒会執行部は、生徒全員が学校生活をより充実できるようにサポートするという想いでこの一年、生徒会活動を行っ

てきました。ボランティア活動にはあまり触れることが出来ませんでした。私達の仕事を紹介します。

まず一番初めの行事は、新たな新生を迎える歓迎会でした。早く学校に慣れてもらうように校歌を歌い、行事をスライドで流すなどのもてなしをしました。7月に行なったクラスマッチでは、より効率的に試合が進むように工夫をし、試合結果をすぐにみんなに伝えるために、体育委員会のみんなと休むまもなく走り回りました。9月に行なった文化祭・体育祭では、全クラスからアンケートを取りテーマを決めました。夏休みから垂れ幕を作成し、何度もオープニングとエンディングのリハーサルをしました。大変でしたが、みんなが最高に盛り上がりとても素晴らしい出来だったと思います。

後期は、一年間の全てを詰め込んだ「光風」の冊子を作りました。毎年のように、各クラスや各部活の活動内容や「光風」の歴史を載せました。製作は、原稿がなかなか集まらなかったりして苦労しましたが、たくさんの人たちの力を合わせて完成させることが出来ました。明日行なわれる、新一年生の合格者説明会でも、一日でも早く国府高校に慣れてもらうために「国府辞苑」という冊子を製作しています。規則、授業内容、テストや購買についてなど、私たちの学校で過ごすのに役に立つことばかり載せました。4月の初めに私たちは次の生徒会メンバーに仕事を引き継ぎます。まだやることは残っていますが、最後まで妥協をせずに私たち6人の



生徒会をやり遂げたいです。

~~~~~交流会レポート~~~~~

例会終了後に、交流会が開催されました。今回も非常に充実した交流会になりました。

平成 21 年度も引き続き行なってまいりたいと思います。



テーマ

- 「なぜ、ボランティアをしているのか？」
- ～自分のためか？他人のためか？～
- 「今後、6校で何か事業をしてみたいか？」

テーブルごとの意見発表

テーブル

- ・ボランティアというと大それたことのように感じるかもしれないけれど、お年寄りと挨拶をしたり、落ちていた空き缶を拾うことも、ボランティアだと思う。
- ・自分に徳はないかのように感じるかもしれないが、目には見えないもので心が一杯になる気がします。
- ・地域を綺麗にすることで、人とのコミュニケーションをとることで、人は少しずつやさしくなるような気がする。

テーブル

- ・初めは、自分たちのためと言う意見が出ました。
- ・どういう気持ちでやっているかとしっかり考えてみると、やる時には他人の事を考えて、相手の事を喜ばせたりしたいと思ってやっている。
- ・やる時と考える時とでは、考えが違う、自分のため、他人のため、やはり両方あるのではないか。
- ・これから集まって、他校の人たちと何か出来るとしたら、色んなところのお祭りや駅などのごみ拾いが出来たら、もっと交流が出来るのではないか。

会報担当者：太田稔会員、樺山修一会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。